



日根 藤六（ひね とうろく）の想いをつなげ！

宮原小学校4年生と地元有志がひまわりの種を植えます

約230年前、有田川が大洪水に見舞われ、須谷（すがい）堤防が決壊するという大きな災害が発生しました。その際、地域の復興に尽力したのが、日根 藤六氏です。藤六氏は陣頭指揮を執り、困難を極めた復旧工事を成し遂げ、地域の安全を守りました。

その堤防は、昭和28年の「7.18水害」においても決壊することなく、周辺住民の命と暮らしを守り抜きました。藤六氏の偉業は、今もなお地域の誇りであり、宮原町須谷地区にはその功績を称える碑が建てられています。

令和元年には、地元の有志によって「向日葵応援隊」が結成され、藤六氏の想いを未来へとつなげる取り組みが始まりました。地域の子どもたちや住民に向け、堤防沿いにひまわりの種を植え、咲かせる活動を毎年続けています。

さらに令和3年度からは、宮原小学校4年生との協働がスタート。児童たちとともに種を植え、藤六氏の功績や地域の歴史について学ぶ学習活動も取り入れながら、次世代に語り継ぐ取り組みとして広がりを見せています。

今年も、地域と学校が力を合わせて、ひまわりの種まきを実施します。未来を担う子どもたちが地域の歴史を学び、先人の想いを受け継いでいくこの活動を、ぜひ取材・報道くださいますようお願い申し上げます。

記

夏には、ひまわりがきれいに咲き誇ります。

- ◆実施日時：令和8年5月14日（木）午前9時30分～
- ◆参加者：向日葵応援隊（地元の有志で結成）、宮原小学校4年生



----- この件に関するお問い合わせ先 -----

有田市教育委員会 教育総務課 桑原
電話 0737-22-3758
メール kyoikusomu@city.arida.lg.jp

